

NPO 法人

全日本語りネットワーク

〒185-0021 東京都国分寺市南町 2-18-3 国分寺マンションB-03A

(Fax) 0237-67-7001 (振替) 00130 - 2 - 114808

(E-mail) welcome@japankatarinet.jp

(HP) http://japankatarinet.jp/

2025. 7. 8 発行

ニュース

「語りの祭り」は平和の証

嘉数和子（沖縄県）

今から 27 年前（1998 年）沖縄で開催された「語りの祭り」に初めて参加しました。素語りで昔話をしている皆さんが絶妙な間を入れながら、各地域の言葉で語る姿が素敵で、私は惹かれました。私も仲間になりたいと思い、それから毎回開催される地に行くことが楽しみになりました。沖縄からの参加者が少ないため自分が沖縄の代表だと思い、沖縄の昔話を沖縄の言葉『しまくとぅば』で語っていこうと決め、今日まで語り部として努めてきました。

ある中学校の全校集会でのことです。『しまくとぅば』で昔話をしたのですが、生徒達の多くは何の反応もなく、ただうつむいていただけでした。これまで『しまくとぅば』を聞く機会がなく、何の話をしているのか分からなかったようです。この経験より、小さい頃から『しまくとぅば』に触れる機会を作りたいと思い、『しまくとぅば』半分、標準語半分に自作の紙芝居を作成しました。それを保育園の子ども達に聞いてもらったところ、笑ってくれたり、集中して見てくれました。「少しずつでも『しまくとぅば』が分かるようになれば良いな」と思い、語りを続けて行こうと決めた瞬間でした。

さて、今年は戦後 80 年になります。沖縄では地上戦があり、沢山の子どもや女性、お年寄りまでもが戦争に巻き込まれ尊い命を失いました。あの当時、『しまくとぅば』で会話をする地元民は、日本兵から見ると「何を言っているのか判らない」と言ってスパイ扱いされ命を奪われた人もいたと聞きます。

戦後、学校では標準語励行（方言を使わないようにしよう）という運動が起き、『しまくとぅば』が軽視されるようになります。そんなこともあって、『しまくとぅば』が話されなくなっています。そして今、主に芸能に携わる一部の人のみが使う言葉になりつつあります。

沖縄にはこんな諺（黄金言葉）があります。

うまりじまぬ くとうばわしんねー くにんわしゆん

これは、「生まれ育った場所の言葉をわすれるようでは、故郷のことまでも忘れてしまう」の意味です。

言葉は文化です。そこの地域で生まれ育った言葉は、人間性を育てていきます。標準語では言い表わせないものでも『しまくとぅば』では伝えることが出来ます。それは、他県でも同じだと思います。

今沖縄県では『しまくとぅば』が死語にならないように、色々な形で地域や学校等で取り組みが始まっています。

祖先の使っていた『しまくとぅば』を未来へ残さなくてはいけないとの思いから私も、友人達と一緒に『しまくとぅば』を取り入れた芝居に取り組み、手始めに子ども達に向けての公演活動を行っています。

まずは、自分達から行動に移さないと変わってはいかないでしょうから。

平和な世の中になった今だからこそ、他の人を認め尊重できるのです。『しまくとぅば』の語り部としてこれからもまず自分の周りから、そして出来る事から行動していきます。

過去を忘れず平和がいつまでも続いていきますように。（かかず・かずこ）



(本人作)